

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3207521号
(U3207521)

(45) 発行日 平成28年11月17日 (2016.11.17)

(24) 登録日 平成28年10月26日 (2016.10.26)

(51) Int.Cl.	F 1
B 4 4 C 1/175 (2006.01)	B 4 4 C 1/175 B
B 4 4 C 1/17 (2006.01)	B 4 4 C 1/17 C
B 3 2 B 27/30 (2006.01)	B 3 2 B 27/30 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号	実願2016-4081 (U2016-4081)	(73) 実用新案権者	516253330
(22) 出願日	平成28年8月23日 (2016.8.23)		正清國際有限公司
(31) 優先権主張番号	104213774		台湾台北市中正區延平南路3號
(32) 優先日	平成27年8月26日 (2015.8.26)	(74) 代理人	100080252
(33) 優先権主張国	台湾 (TW)		弁理士 鈴木 征四郎
		(74) 代理人	100143720
			弁理士 米田 耕一郎
		(72) 考案者	劉 錦彩
			台湾台北市中正區延平南路3號

(54) 【考案の名称】 高耐候性転写フィルム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 高耐候性転写フィルムを提供する。

【解決手段】 転写フィルム3は基材層31を有し、係る基材層31の底面にフッ素材料を塗布して形成する図案層32を設けることによって、係る図案層32が高耐候性、汚れ耐性をもたせて、係る転写フィルム3をワークに転写することによって、ワークの耐候性を向上できると共に、ワークの表面に複雑な縞線、図案または色調を表せる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

高耐候性転写フィルムであって、

前記転写フィルムは基材層を有し、前記基材層の底面は、フッ素材料を塗布して形成する図案層が設けられていることを特徴とする、高耐候性転写フィルム。

【請求項 2】

前記転写フィルムの図案層は、プライマーを塗布した金属材料のワーク表面に転写していて、かつ、前記プライマーは、フッ素材料を塗布して、ワークの表面に形成されることを特徴とする、請求項 1 記載の高耐候性転写フィルム。

【請求項 3】

前記図案層の表面は、フッ素材料を塗布した保護層であることを特徴とする、請求項 2 記載の高耐候性転写フィルム。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は高耐候性転写フィルムに関し、特にワークに複雑な縞線、図案または色調を持たせて、かつ、ワークの耐候性を向上できる転写フィルムに関する。

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0002】**

一般の金属ワークは、日差し、酸性雨等の気候の影響によって、金属ワークの表面が破壊される。従来のやり方は、ペンキまたは塗料を金属ワークの表面に塗布している。しかしながら、ペンキまたは塗料が乾燥した後の硬度が不十分であるため、汚れ耐性、湿気耐性、耐熱性が不足し、表面は外力の影響によって、ひっかき傷、剥がれ、軟化または溶けて燃えやすい欠点が残されている。さらに、ペンキの塗布作業は単純に色変化を与えられるが、金属ワークに複雑な図案をもたらすことはできない、変化も少ない。

【課題を解決するための手段】**【0003】**

本考案の主な目的は、ワークの耐候性を向上できると共に、ワーク表面に複雑な縞線、図案または色調を形成することができる。

【0004】

前述の目的を達成するため、本考案の転写フィルムは基材層を有し、係る基材層の底面にフッ素材料を塗布して形成する図案層が設けられている。

【0005】

前述の高耐候性転写フィルムによる転写フィルムの図案層が、プライマーを塗布した金属材料のワーク表面に転写していて、かつ、係るプライマーは、フッ素材料を塗布してワークの表面に形成されている。

前述の高耐候性転写フィルムによる図案層の表面は、フッ素材料の保護層が塗布されている。

【0006】

フッ素材料からなるプライマーをワーク表面に塗布することによって、ワークが日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい。さらに、転写方式によって、図案層をプライマーの表面に設け、係る図案層が複雑な図案、縞線または色調によって、ワークを美化できる。さらに、図案層も同じくフッ素材料によって構成し、図案層が日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい。

【図面の簡単な説明】**【0007】**

【図 1】本考案による転写フィルムの断面図である。

【図 2】本考案による転写フィルムをワークに転写するときの断面図である。

【考案を実施するための形態】

10

20

30

40

50

【実施例】

【0008】

図1を参照する。図から分かるように、本考案の転写フィルム3は、基材層31を有し、係る基材層31の底面にフッ素材料を塗布して形成する図案層32が設けられている。係るフッ素材料の図案層32は、高耐候性、汚れ耐性を有する。

【0009】

図1と、図2を参照する。図から分かるように、本考案の転写フィルム3を金属材料のワーク1に適用する場合は、まず、ワーク1の表面にプライマー2を塗布し、係るプライマー2も同じくフッ素材料を塗布して形成し、プライマー2に高耐候性、汚れ耐性を持たせる。引き続き、転写フィルム3を転写によって、図案層32をプライマー2の表面に転写させる。転写の方式は、水圧転写または真空転写を選択できる。

10

【0010】

前述の転写フィルム3は、プライマー2をワーク1表面に塗布した後、プライマー2の表面を硬化させた後、引き続き、転写フィルム3の図案層32をプライマー2の表面に転写させ、さらに、図案層32をプライマー2の表面に転写した後に、図案層32の表面にフッ素材料を塗布し、保護層4を形成させ、引き続き、図案層32と、プライマー2と、保護層4とを同時に焼き付けて定形させる。

【0011】

前述とおり、本考案のプライマー2はフッ素材料によって構成されているため、ワーク1表面が日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい。さらに、係る図案層32も同じくフッ素材料によって構成しており、図案層32も同じく日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい。これにより、図案層32が長時間保存に耐えられる。さらに、係る図案層32は転写方式によって、係るプライマー2の表面に塗布しているため、図案層32に複雑な図案、縞線または色調を持たせて、ワーク1を一層美化できる。ワーク1を建築用内装材、建築用外装材、橋梁の外装材、エレベーターの内装材と外壁材に適用した場合は、より豊富な変化性を有する。

20

【0012】

前述のとおり、本考案によれば、公知技術の不足及び欠点を解消できると共に、効果を向上することができる。主な技術手段として、本考案は、フッ素材料からなるプライマーをワーク1表面に塗布することによって、ワーク1が日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい。さらに、転写方式によって、転写フィルム3の図案層32をプライマー2の表面に設けることによって、図案層32が複雑な図案、縞線または色調をもって、ワーク1を美化できる。さらに、係る図案層32も同じくフッ素材料によって構成され、図案層32には日差し、酸性雨等の気候の影響を受けにくい効果がある。

30

【符号の説明】

【0013】

- 1 ワーク
- 2 プライマー
- 3 転写フィルム
- 31 基材層
- 32 図案層
- 4 保護層

40

【図 1】



【図 2】

